

7月 月いちウォーク資料 (FP園内)

動物舎	動物	解説
古沢用水	竹林	地域の農業用水。古沢屋仁右衛門が整備し、ファミリーパークのある地名の由来にもなっている。
とんぼの沢		園内の水辺の一つです。トンボも多く観察でき、今の時期はオオシオカラトンボが多く見られる。
シマウマ舎	グレビーシマウマ	グレビーシマウマはシマウマの中でも体が大きく、縞が細く美しいと言われている。 かがやき♂：9歳（新幹線開通の年に生まれた）
キリン舎	アミメキリン	エサを舌で巻き取って食べる。土日祝に10組限定のキリンに木の葉をあげようは大人気。首が長い、その骨の数は人と同じ7本。 キュウタロウ♂とカリン♀ オスは角が5本、メスは角が3本。
トラ舎	アムールトラ	トラは、水が苦手なネコ科の中ではめずらしく、暑い時にプールに入る。他の動物に襲われる心配がないため、腹を上に向けて寝る姿もよく見られる。 ミー♀：20歳近い老齢の個体。日本最高齢。 オク♂：5月に京都市動物園から来園した。
ペンギン池	フンボルトペンギン	チリ、ペルー付近に暮らすペンギンです。ペンギンは鳥の中では珍しくオスも子育てに参加し、一生ペアを替えないと言われています。 1月にのとじま水族館から10羽が避難してきた。この春にその中から2羽孵化し成育している。施設復旧し、7/5に8羽がのとじまに帰った。 現在はファミリーパークの11羽（2羽今年生まれ）と、のとじまの4羽（2羽今年生まれ）がいる。
バードピア	12種類の鳥	2年前オープン。熱帯に暮らす（アフリカ、東南アジア、南アメリカ）インコやオウムなど12種類の鳥類を飼育している。繁殖にも力を入れている。
リスザル舎	コモンリスザル	南米のジャングルに暮らす小型のサルの仲間。 果物や昆虫などを食べてくらす。
カピバラ	カピバラ	世界で一番大きなげっ歯目の動物。南米の草原でくらす。 水辺でくらし、泳ぎが得意で、両足には水かきがある。また、毛は水を弾きやすい。
ムササビ村一丁目	ムササビ	野生のムササビが観察できるように、カメラ付きの巣箱を設置している。 高い木に登り、「滑空」をして木の間を飛んで移動する。 よく間違えられる「モモンガ」は体が小さく、高い山地に住んでいるため呉羽丘陵にはいない。
郷土動物館	テン、ノウサギ、イタチ、モモンガ、フクロウ、ネズミ類等	建物の中にはムササビやフクロウなど夜行性動物が展示されています。昼夜逆転の展示になっており、日中は館内が暗く、夜の状態の動物がご覧いただけます。 日本、富山にすむ動物が展示されています。今は暖かい冬毛が抜けて、夏毛になり体型もすっきりとしています。呉羽丘陵に生息する動物が多く飼育されている。

タンチョウ	タンチョウ	昔からめでたい鳥として扱われてきた丹頂鶴。江戸時代までは全国各地で見られたようですが、現在は、北海道以外では見られなくなりました。オスのソラとメスのコユキがいます。
バイソン舎	アメリカバイソン	夏になり、冬毛がごっそりと抜け涼しげな体になってます。アメリカバイソンはかつては北米大陸にたくさん住んでいましたが、狩猟のために一時は絶滅寸前にまで減ってしまいました。現在各地の動物園や自然公園で手厚く保護されています。ゆう（母）とユイ（娘）は母子で角の角度が左右で違うのが「ゆう」です。
ヒメゲンゴロウ池		ヒメゲンゴロウなど水生昆虫が生息。モリアオガエルの産卵も見られる。ホクリクサンショウウオが産卵するように、造成した。

NAVI 見どころ紹介 2024年7月

今咲いている花は



リョウフの花

若葉が食用になることから飢饉に備えて貯蔵と採取を令法によって命じたことから「リョウフ」と名づけられたといわれます



ヒオウグスイセンの花

用水第3ホタルの宿付近
別名:クロコスギア。南アフリカ産。地下茎を延ばして球根で育ちます。



アカメガシラの花

雌雄異株で、雄花だけの雄株と雌花だけの雌株があります。(イチョウなどと同じ) 柏のない地域で柏餅に使ったことが由来といわれています。

トンボの種類について

園内にはお送りトンボが飛んでいます。今の代表的なトンボは



モノサシトンボ



ナツアカネ



キイトンボ



シオカラトンボの複眼は空色ですが、オオシオカラトンボの複眼は黒く見え、また羽の付け根が黒くなります。